

認知症ケアに専門性と人間性を いつまでも尊厳ある人生のために

東京都町田市。認知症受入れ可能という老人ホームは多い中、認知症ケアに積極的に専門ケアをきちんと受けられるホームを発見。海外研修や社外研修を実施し、常に学ぶ姿勢が印象的であった。

東急田園都市線「南町田」駅徒歩6分の地、有料老人ホーム「鶴の苑」を訪れた。多彩なアクティビティや三ツ星料理店出身シェフの食事など紹介したいことは沢山ある



上:専任スタッフ 左下:リビング 右下:ライフストーリーブック

が、その中で今回は「認知症フロア」について取り上げる。というのも、運営の社会福祉法人合掌苑では、認知症ケアを学ぶためオーストラリアのタスマニアで毎年研修を実施。そこで得たケアを実践している。福祉先進国と聞くと北欧が思い浮かぶが、北欧諸国は税負担率の高い高負担の高福祉で福祉のあり方や制度が日本とは異なる。その点オーストラリアは日本と似た保険制度を持つ中負

担中福祉の国。日本にとって、介護・認知症ケアの良いモデルとなる。

鶴の苑2階の認知症フロアへ

お客様(スタッフは入居者のこと)を、尊敬心を持ってそう呼ぶ)はテレビを見たり、お喋りをしたりと思いきりラックスしている様子だ。定員24名を3ユニットに分け、家庭的な雰囲気の中で生活を送る。気分が落ち着くよう照明は淡く、転倒などの衝撃を和らげるため床はクッション性に優れている。また、老人ホームの扉は開きやすさから引き戸が多いが、ここはあえて開き戸だ。より「家」らしさを考えた結果である。さらに全体を眺めると、居室、リビング、空中庭園がぐるりと一続きの配置になっている。空中庭園は、赤いポストや板塀、昔懐かしい看板が設置されノスタルジックな雰囲気。昔を思い出すことで、心が落ち着くという。このようにフロアの造りに工夫を凝らしている。

昨年タスマニア研修後、新たに取り入れた「ライフストーリーブック」にも注目。それは、お客様の人生の軌跡を写真と文章で一冊の本にまとめたもの。思い出深い人生のシーンをスタッフに話すお客様は、自然と気持ち安定する。制作には家族の協力も必要で、「お客様・家族・スタッフ」の関わりの中、お

お客様の穏やかな表情からは、スタッフへの信頼と良好な関係が成立しているのだと感じられた。認知症フロアに限らず、スタッフの礼儀正しさと誠実さを確かに実感。スタッフ教育を徹底し、月1回以上の個人面談を行うというのも納得だ。また、スタッフ全員がインカムを着用する姿に気付く。緊急時や人手が欲しいときに迅速に対応するためだという。

介護は人と人、関わり合いには、尊厳が第一というのが合掌苑の考え方。そこには、昭和20年東京大空襲で焼け出された人々のお世話から始まった、合掌苑の思いが脈々と受け継がれている。関わるすべての人を幸せに——との理念の基、今日も笑顔とやすらぎに満ちたホーム運営が続いている。



バス停や広告看板が設置され懐かしさ漂う庭園

●資料請求・お問い合わせは アシステッドナーシング&リビング 鶴の苑 (〒194-0004 東京都町田市鶴間684-1) ☎042-788-0544 <http://www.gsen.or.jp/tsurunosato/>

●施設所在地/東京都町田市鶴間684-1 ●交通/東急田園都市線[南町田]駅より徒歩6分 ●類型/介護付有料老人ホーム ●介護保険/一般型特定施設入居者生活介護 ●居住の権利形態/利用権方式 ●入居条件/概ね65歳以上・要支援・要介護 ●介護に関わる職員体制/2:1以上(夜間21時~翌7時、最少人員4名) ●総居室数/82室(全室個室) ●居室面積/18.9㎡~20.5㎡ ●利用料の支払方式/前払金方式 ●入居一時金/798万円(5年均等償却) ●入居一時金の返還金制度/有 ●月額利用料/292,800円(税込) [内訳:家賃相当額120,000円、食費調理費59,400円、管理費(水道・光熱費など)70,200円、上乗せ介護費43,200円] ●敷地面積/4,023.03㎡ ●延床面積/7,380㎡ ●構造/鉄筋コンクリート造地上7階地下1階建 ●共用設備/診療所、レストラン、浴室、デイルーム、理美容室、ランドリー ●土地・建物の権利形態/賃借 ●開設/平成16年6月 ●造力医療機関/町田南ホームクリニック(内科、心療内科、精神科) ※在宅支援診療所 往診月2回・緊急時24時間対応、みやさか歯科(歯科) ※往診週1回・口腔ケア・入れ歯調整等、町田市民病院(内科、循環器内科、循環器外科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、整形外科、リハビリテーション科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、小児科、新生児科、眼科、産婦人科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、歯科、歯科口腔外科) ※緊急時の救急対応 ●事業主体/社会福祉法人合掌苑